

令和2年度事業計画

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 基本方針

本県の沿岸の重要な漁業資源は、従来から卓越年級群や来遊資源に頼るところが大きく、不安定な状態となっています。また、比較的安定していると言われる定着性の沿岸資源においても減少が見られ、その底上げを図り、安定した生産をあげることが課題となっております。この対策の一環として栽培漁業が大きく期待されており、徐々にその成果が発現しているところでもあります。

当協会においては、栽培漁業の一層の推進を図るため、茨城県栽培漁業基本計画（平成29～33年度）に基づき、量産レベルにおける種苗生産・放流に関する一連の技術開発に努め、種苗の大量生産・放流を実施し、引き続き放流効果の実証と事業の定着化を図って参ります。また、茨城県栽培漁業センターを訪れる県民等に対し、栽培漁業の普及啓発に努めて参ります。

2 事業内容

(1) ヒラメ資源増大パイロット事業

漁業者の負担金のほか、県の補助金の交付を受け、ヒラメの種苗生産を行い放流するとともに、放流効果を把握するため、市場調査を引き続き実施します。

① 種苗生産・放流

100mmサイズまでのヒラメの種苗を次表を目安に生産し、関係漁協の協力を得て、それぞれの地先海面に放流します。

魚種名	生産目標数量	放流目標数量	放流先など
ヒラメ	100mm 85万尾	100mm 85万尾	北茨城市から神栖市地先海面 〔具体的な放流場所及び量は、栽培漁業推進協議会で協議決定する。〕

② 放流効果把握調査

ヒラメの放流効果を把握するため、県内各産地市場の卸売り業務を行っている漁協等に委託して、漁業種類毎に漁獲されるヒラメの全長測定と混入されている体色異常魚の尾数等の状況を調査します。

(2) 水産種苗生産技術開発事業

① 放流用種苗生産事業（アワビ）

県の委託を受けてアワビ種苗を次表を目安に生産し、県の指示により配付します。

魚種名	種苗サイズ	生産目標数量 (配付数量)	配付先など
アワビ	35mm	30万個	沿海漁協等

② 配付用種苗生産事業（アユ）

県の委託を受けてアユ種苗を次表を目安に生産し、県の指示により配付します。

魚種名	種苗サイズ	生産目標数量	配付先など
アユ	70mm	20万尾	県内業者等

③ 種苗量産技術開発事業（ハマグリ）

県の委託を受けて、次表を生産規模とする鹿島灘はまぐりの種苗量産技術開発および親貝早期成熟技術開発等を行います。

魚種名	技術開発規模	備考
鹿島灘はまぐり	2mm 1,000万個	浮遊幼生期の生残率向上を目指した技術開発試験を実施

④ 種苗生産基礎技術開発事業（ソイ類）

県の委託を受けて、次表を生産規模とするソイ類の種苗生産基礎技術開発を行います。

魚種名	技術開発規模	備考
ソイ類	30mm 2万尾	県水産試験場に引き渡し (放流調査用)

⑤ 種苗生産基礎技術開発事業（マコガレイ）

県の委託を受けて、次表を生産規模とするマコガレイの種苗量産技術開発を行います。

魚種名	技術開発規模	備考
マコガレイ	30mm 17万尾	県水産試験場に引き渡し (放流調査用)
	60mm 3万尾	

⑥ 新規種苗生産基礎技術開発事業（ナマコ）

県の委託を受けて、次表を生産規模とするナマコの種苗生産基礎技術開発を行います。

魚種名	技術開発規模	備考
ナマコ	20mm 2万個	県水産試験場に引き渡し (放流調査用)

(3) 栽培漁業センター保守管理事業

県の委託を受けて、茨城県栽培漁業センターの機械設備の定期点検、夜間・休日の警備など施設・設備の維持管理を行うほか、展示施設を適切に管理します。

(4) 栽培漁業普及事業

茨城のつくり育てる漁業の普及啓発を図るため、展示施設等の一般見学者の受け入れのほか、次の事業を行います。

① 全国豊かな海づくり大会への参加

水産資源の維持培養と海の環境保全に対する国民の意識高揚等を図る第40回全国豊かな海づくり大会（令和2年9月27日、宮城県で開催）への参加を支援するため、同大会茨城県参加団に対し助成します。

② 機関誌の発行等普及事業の実施

- 栽培漁業などつくり育てる漁業を推進するため、当協会の機関誌「茨城さいばいだより」の発行及び栽培漁業啓発用パンフレットを作成するほか、ホームページ等により当協会の活動や茨城県栽培漁業センターの施設を紹介します。
- （公社）全国豊かな海づくり推進協会発行の機関誌を関係団体に配布するとともに、関係中央団体の予算陳情活動等に参加して参ります。
- 茨城県漁業研究協議会や茨城県漁業士会に助成し、その活動を支援します。